

業務改善アクションプランの実施状況について

運輸安全委員会

平成24年8月

1. (1)④	1. (1) 専門委員制度における任命手続きの迅速化
具体的な対応策	
[平成24年5月より] 従来、部会了承から専門委員発令(国土交通大臣発令)まで平均で1か月半を要しているが、必要な措置を講じ、1か月以内の任命を目指す。	<p>○迅速、適確に人選を行えるよう「専門委員候補者名簿(電子データ)」を各調査モードに備えるべく作業中。</p> <p>○専門委員の任命に係る部会了承手続きに関しては、部会開催まで日数のある場合は、持ち回り決裁方式を活用する。</p> <p>○専門委員候補者及び所属機関への事前調整等を同時進行で進める。</p> <p>[平成24年度における専門委員任命実績] 部会了承日から専門委員発令日まで15日間</p>

1. (1)④

専門的知見を適確に得るための方策

具体的な対応策

○下記の解析等調査において、専門的知見を活用している。

1. 専門的知見の個別調査での活用
 (2)調査委託制度等の活用
 ・事故等調査における必要性に応じて、専門委員制度や調査委託制度、また任意協力という方法を適宜使い分けつつ、専門的知見が適確に得られるよう努める。
 [順次実施]

モード	解析事例	事故等
航空	構造及び運動の解析	全日本空輸(株)所属ボーイング式767-300型機 着陸損傷事故 平成24年6月20日発生 於:成田空港滑走路上
鉄道	鉄道車両の損傷状況に関する調査分析	北海道旅客鉄道(株)函館線 列車脱線事故(踏切障害に伴うもの) 平成22年1月29日発生 於:北海道深川市(深川駅～妹背牛駅間(複線))
船舶	事故発生場所付近の川の流れ、地形の計測、船体形状、復原性、運動性能等及び船舶の挙動の計測	旅客船第十一天竜丸転覆事故 平成23年8月17日発生 於:静岡県浜松市天竜区の天竜川

2. 事故調査力の向上
 専門的知見を有する学識経験者に技術アドバイザーとして協力頂き、最新の技術等の情報提供とともに、各分野の専門的観点から運輸安全委員会の活動について助言を頂く機会を設ける。
 [平成24年度内に実施]

○技術アドバイザーとしてご協力頂ける学識経験者について検討中。

1. (1)⑤

スケルトン報告の実施

具体的な対応策

簡易な案件を除き、全ての事故等について全モードでスケルトン報告を実施する。
[実施中]

○船舶モードを参考に、航空・鉄道事故等についても事案の内容に応じ、重大案件につきスケルトン報告を実施することとした。

[スケルトン報告実施状況一覧](平成24年6月末時点)

	平成23年6月以降に発生した事故等	スケルトン報告実施	スケルトン報告実施予定	簡易な案件のためスケルトン報告実施せず
航空	24	6	11	7
鉄道	23	4	14	5
船舶※	18	8	10	0

※審議途中段階から重大案件に移管されたものを除く。

スケルトン報告: 調査官が報告書ドラフトの作成に着手する段階で報告書の骨子について部会に予め報告するもの

<p>1. (2)①</p>	<p>調査のスケジュール管理方法</p>
<p>具体的な対応策</p> <p>1. 委員に対する初動調査報告、事故調査状況報告、スケルトン報告の充実及び収集した情報の電子化による情報共有を実施したが、さらに部会審議の効率化を推進する。[実施中]</p> <p>2. 外国人の原因関係者に対する意見聴取又は関係国に対する意見照会が必要となる事故等調査報告書案の英訳期間を短縮するための方策を実施する。[平成24年4月に実施]</p> <p>3. 社会的関心が高い事故等については、集中的な委員会審議及び担当調査官増員などのメリハリを付けて対応する。[随時実施]</p> <p>4. 調査スケジュール管理をさらに充実させるため、主管調査官が作成する事故等調査計画表の改善を図り実施する。[平成24年4月に実施]</p> <p>5. 地方事故調査官の調査対象である船舶事故等の処理に当たっては、審議の効率化を図る。[平成24年4月から試行]</p>	<p>○実施中の各対応策の実績とその効果を検証したうえ、さらなる部会審議の効率化について検討を行う。</p> <p>○英訳期間を短縮するため、可能な限り発注手続きを前倒しする。また、期間短縮につながるための品質向上策を検討中。</p> <p>○JR北海道石勝線列車脱線事故(平成23年5月発生)及び第十一天竜丸転覆事故(平成23年8月発生)など、社会的関心が高い事故等の調査について、担当調査官を増員して対応した。</p> <p>○調査スケジュール管理のため、初動調査終了時点で事故等調査計画を策定し、部会に報告する。</p> <p>○東京の船舶事故調査官が代理で説明していたものを、テレビ会議システムの活用により地方事故調査官が直接部会審議に参加し、説明することとした。</p>

1. (4)①～⑥

具体的な対応策

①報告書の冒頭(第1章の前)に『要旨』を掲載する。
[平成24年5月公表分より]

②聴取した口述は、間接話法を用いて記載する。
[平成24年4月以降に発生した事故等から実施]

③事故等の種別を整理し、事故等名を記載する。
[平成24年5月公表分から実施]

④図表・写真等の本文への掲載を推進する。
[平成24年4月公表分から実施]

⑤専門用語は脚注で補足。
巻頭に用語集。
[平成24年4月公表分から実施]

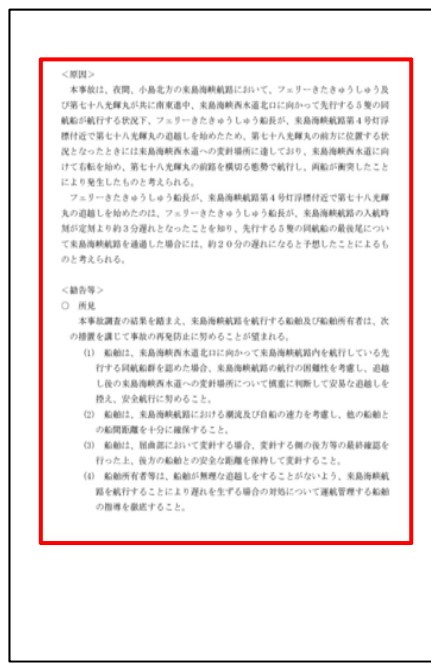
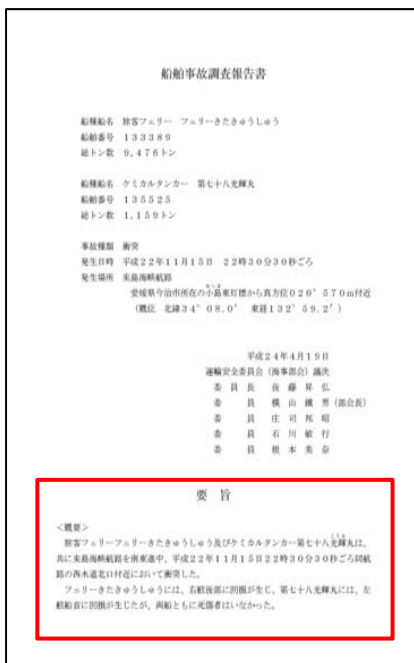
⑥フローチャートを作成
[実施中]

冒頭への「要旨」記載 他

○分かりやすい報告書とするため下記の取り組みを実施中。

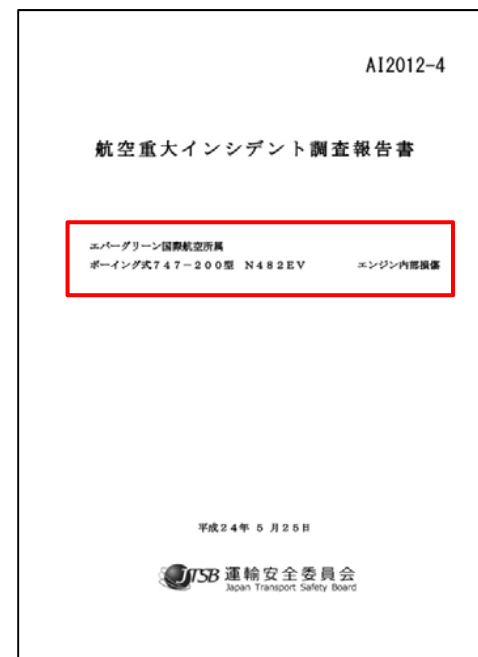
- ・報告書冒頭(第1章の前)へ、概要、原因、勧告等の要旨を記載
- ・聴取した口述を間接話法による記述
- ・航空事故等について事故等名を追加

要旨掲載事例



平成24年5月25日公表 船舶事故調査報告書

分かりやすい事故等名称の記載事例



平成24年5月25日公表
航空事故等調査報告書

1. (4)①～⑥

具体的な対応策

①報告書の冒頭(第1章の前)に『要旨』を掲載する。
[平成24年5月公表分より]

②聴取した口述は、間接語法を用いて記載する。
[平成24年4月以降に発生した事故等から実施]

③事故等の種別を整理し、事故等名を記載する。
[平成24年5月公表分から実施]

④図表・写真等の本文への掲載を推進する。
[平成24年4月公表分から実施]

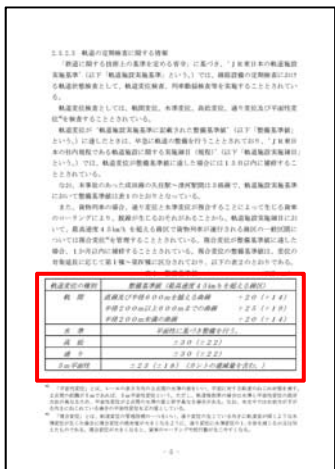
⑤専門用語は脚注で補足。
巻頭に用語集。
[平成24年4月公表分から実施]

⑥フローチャートを作成
[実施中]

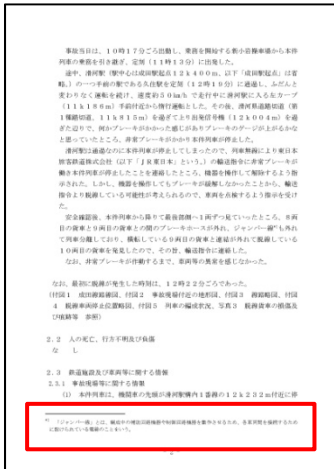
冒頭への「要旨」記載 他

- ・図表、写真等の本文への掲載
- ・専門用語の脚注、又は巻頭用語集による注釈
- ・フローチャートによる図示

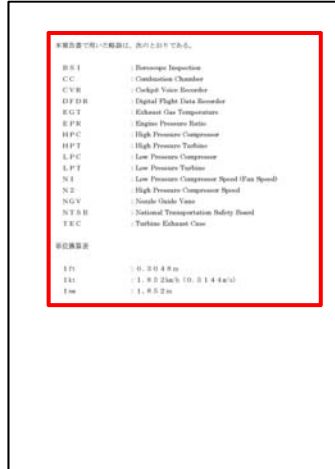
図表・写真掲載事例



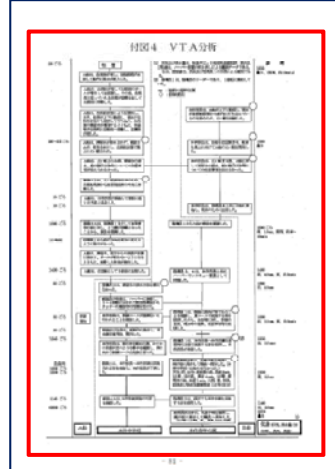
脚注掲載事例



巻頭用語集掲載事例



フローチャート作成記載事例



2. (1)①

事故等の再発防止に資する情報発信のあり方(提言関係)

具体的な対応策

1. 調査途中段階における行政機関への安全情報の発信

・情報提供の指針を策定

[平成24年9月までに策定]

・事故等調査実施要領通則の改正

[平成24年9月までに策定]

・行政機関への情報提供を引き続き適時適切に実施

[平成24年中の実績についてレビューを行う]

2. 調査途中段階における関係事業者等への安全情報の発信

[平成24年中の実績についてレビューを行う]

3. 調査終了後における関係事業者等への安全情報の発信

[平成24年中の実績についてレビューを行う]

○情報提供の指針等について平成24年9月までに策定すべく検討中。

調査途中段階における行政機関への情報提供を、次のとおり実施している(平成24年4月以降の実績は次のとおり)。

4月公表分	航空	個人所属 動力滑空機の滑走路逸脱重大インシデント(平成24年4月7日発生)に係る情報提供
	船舶	漁船春日丸転覆事故(平成24年3月22日発生)に係る情報提供
6月公表分	船舶	水上オートバイリブ同乗者死亡事故等(平成23年7月31日発生)に係る情報提供

○行政機関に情報提供を行った場合には、委員長記者会見で紹介するとともに、ホームページへ掲載し、不安全情報等の紹介を行う(上記公表分について掲載する)。

○勧告に基づき講じた施策又は措置の状況について国土交通大臣からの通報又は原因関係者からの報告があった場合における情報提供を、次のとおり実施している(平成24年4月以降の実績は次のとおり)。

6月公表分	鉄道	長崎電気軌道(株)に対する勧告に基づく措置の完了報告(中間) [長崎電気軌道(株)大浦支線における重大インシデント]
	船舶	(有)安栄観光に対する勧告に基づく措置の完了報告 [旅客船第九十八あんえい号旅客負傷事故]

2. (1)①

事故等の再発防止に資する情報発信のあり方(提言関係)

具体的な対応策

4. (1) よりタイムリーかつ積極的な勧告、意見等の発出
[平成24年中の実績についてレビューを行う]

4. (2) 関係団体・関係業界への情報発信を強化
[平成24年中の実績についてレビューを行う]

○タイムリーかつ積極的な勧告、意見等の発出を、次のとおり実施している。(平成24年4月以降の実績は次のとおり)。

4月公表分	船舶	貨物船SINGAPORE GRACE作業員死亡事故(平成21年6月13日発生) 【勧告2件、意見1件、安全勧告1件】
		旅客船第十一天竜丸転覆事故(平成23年8月17日発生) 【意見(経過報告に伴うもの)1件】
6月公表分	航空	(株)日本航空インターナショナル所属ダグラス式 MD-90-30型重大インシデント [火炎発生(発動機)](平成22年8月15日発生) 【安全勧告1件】
	船舶	ケミカルタンカー青鷹沈没事故(平成23年1月9日発生) 【意見(経過報告に伴うもの) 1件】

(参考)

勧告	最終報告書の「4章 結論」の中の「原因」又は「その他安全上重要な事項」に基づき、それらに対する改善策を求めるもの(講ずべき施策(措置))について、「勧告」として発出する。
意見	調査途中段階における国交大臣、関係行政機関の長への提言、及び調査終了時における「勧告」以外の施策等の提言は「意見」として述べる。

○調査の結果について関係機関(者)への情報発信の強化

①委員長定例記者会見等での周知	実施している。
②講習会における啓発活動	講習会へ参加や報告書の公表時等を利用して、各モードにおいて情報発信の強化に努めている。
③報告書公表時に、関係機関(者)へ説明	

2. (1) ①

具体的な対応策

4. (3) 提言に係るフォローアップの可視化

提言(勧告、安全勧告、意見)に係るフォローアップの状況を可能な限りホームページ等を用いて紹介し、当委員会の業務サイクル(原因究明→提言→安全対策)を可視化する。
[平成24年6月27日ホームページへ掲載]

1. 提言(勧告、安全勧告、意見)の発出から改善が実施されるまでの一連の業務プロセスがわかるように、一覧表にしてホームページに掲載した。

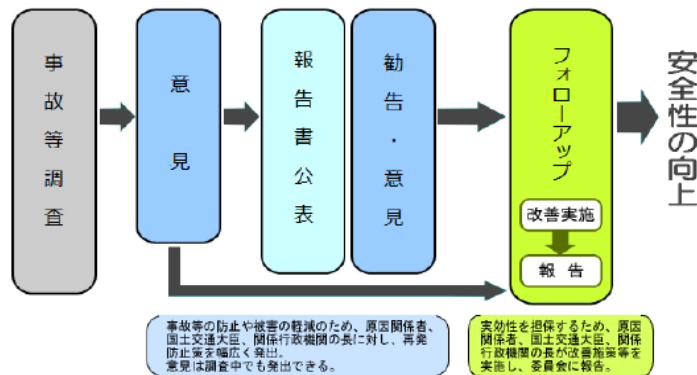
2. 勧告等の提言、報告書の公表及び情報提供など委員会が行っている再発防止に資する情報発信に係る業務サイクルがわかるように、図表にしてホームページに掲載した。

事故等の再発防止に資する情報発信のあり方(提言関係)

○提言に係るフォローアップの状況を可能な限りホームページ等を用いて紹介し、当委員会の業務サイクル可視化するため、「提言に係る業務プロセス(図1)」及び「情報発信に係る業務サイクル(図2)」をホームページに掲載。

勧告・意見(鉄道)

事故等調査の結果、報告書を取りまとめ公表するとともに、必要と認めたときは、関係行政機関の長や事故等の原因関係者等に、事故等の防止又は事故が発生した場合における被害の軽減のため必要な施策又は措置について、勧告あるいは意見を述べることで改善を促し、安全性の向上を図っています。



事故等の防止や被害の軽減のため、原因関係者、国土交通大臣、関係行政機関の長に対し、再発防止策を幅広く発出。意見は調査中でも発出できる。

実効性を担保するため、原因関係者、国土交通大臣、関係行政機関の長が改善施策を実施し、委員会に報告。

事故等発生日	件名	報告書	勧告・意見 (提出日 / 相手方)	フォローアップ
H22.10.21	長崎電気軌道株式会社 大浦支線の重大インシデント	報告書	H23.9.30 長崎電気軌道(株) 勧告	H24.6.27 実施報告 H23.11.30 実施計画

図1 提言に係る業務プロセス

(報告書欄、勧告等の相手方欄、フォローアップ欄の青字をクリックすると、それぞれ報告書、発出した勧告等の文書、改善状況について関係者から報告された文書が閲覧可能。)

事故等の再発防止に資する情報発信

運輸安全委員会は、タイムリーで積極的な情報発信(勧告や意見の発出、事実情報の提供等)を通じ、より一層の運輸の安全性向上に寄与します。

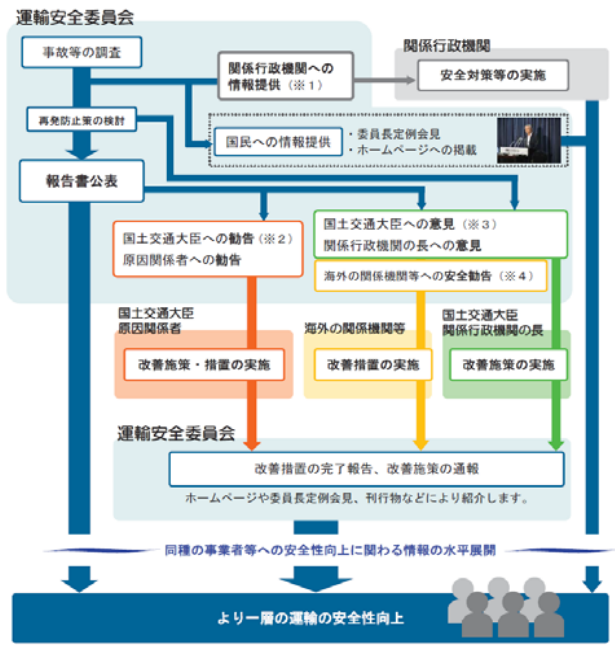


図2 情報発信に係る業務サイクル

2. (1) ③

委員長による定期的な情報発信

具体的な対応策

事故の再発防止に有益な情報をタイムリーに発信するため、委員長の定例会見を毎月開催
[平成23年8月より実施]

○事故の再発防止に有益な情報をタイムリーに発信するため、委員長の定例会見を平成23年8月より毎月開催。

[平成23年8月－平成24年7月の実績]

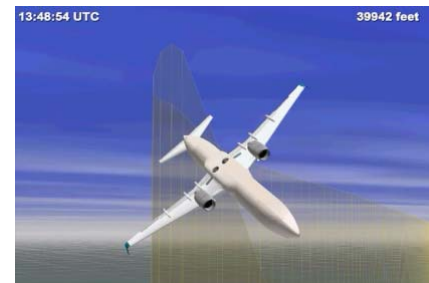
定例記者会見の要領

実施日：原則、毎月第4水曜日14時～
場 所：国土交通省5階会見室

会見事項：

- ①事故等調査の進捗状況
- ②事故等防止及び被害軽減のための情報提供
- ③勧告等に基づき、講じられた施策・措置
- ④年次報告、統計資料
- ⑤その他

実績	件数
事故等調査の進捗状況	24
事故等防止及び被害軽減のための情報提供	7
勧告等に基づき、講じられた施策・措置	12
年次報告、統計資料	1
その他	9
業務改善に関する事項	5
委員会設置3周年を迎えて	1
調査中における意見提出	1
ITSA委員長会議への出席調査中における意見提出	1
委員長会見に対するアンケート	1



ボーイング式737-700型機
重大インシデント
平成23年9月28日



水上オートバイ新聞記事
平成24年6月28日

2. (1)④

個別事故の記者レク資料等の公開等によるホームページの充実

具体的な対応策

職員アンケート結果の
検討
[平成24年4月まで]

一般利用者アンケート
の実施
[平成24年6月まで]

追加コンテンツの検討
[平成24年8月まで]

基礎情報のHP掲載
[順次実施中]

記者レク資料のHP掲載
[平成24年4月から]

○平成23年11月～12月に職員アンケートを、平成24年6月～7月には一般利用者のアンケートをそれぞれ実施した。今後寄せられた意見等を参考に、平成24年8月までにホームページ改善・追加コンテンツの検討を行う。

○記者レク資料は4月公表分からホームページへ掲載中。

4月	航空・・・日本エアークommuter重大インシデント(使用中の滑走路への着陸の試み)
	船舶・・・旅客船第十一天竜丸転覆事故
	船舶・・・貨物船SINGAPORE GRACE作業員死亡事故
5月	航空・・・エバーグリーン国際航空重大インシデント(発動機の破損)
	船舶・・・旅客フェリー フェリーきたきゅうしゅう ケミカルタンカー衝突事故
6月	航空・・・全日本空輸B767乱気流による客室乗務員負傷
	船舶・・・ケミカルタンカー青鷹沈没事故

2. (1)⑤

ニュースレターほか情報ツールの内容の充実・再検討

具体的な対応策



1. 委員会のPR事項、HP更新情報、公表事案、コラム等をHP及びメールマガジン等に掲載する
 <PR活動等>
 [平成24年4月以降、早期に実施]

2. 各モードごと、またはモード共通のテーマについて特集し、紹介すべき事例、統計に基づく分析など内容を充実させる
 <事例紹介、分析集>
 [平成24年4月以降、早期に実施]

3. 運輸安全委員会年報の発刊
 [平成24年7月末までに実施、(英語版)平成24年12月末までに実施]

4. 地方版分析集について、内容の充実及びその周知啓発活動を積極的に行う
 [平成24年中の実績についてレビューを行う]

○「運輸安全委員会ダイジェスト」を発行し、「ホームページ」及び「運輸安全委員会メールマガジン」に掲載している。

4月:第1号	6月:第2号
	
マリンレジャーに関連する船舶事故の特集	航空、鉄道、船舶の各モードから1事例ずつ解説

○各地方事務所においても管轄区域内の船舶事故等について、地域特有の状況を分析した地方版分析集の内容充実及び周知啓発に取り組んでいる。

3月:横浜事務所	4月:函館事務所	5月:神戸事務所	5月:長崎事務所
			
関東・東海沿岸における定置網等への進入などによる船舶事故の状況	北海道沿岸における漁船転覆事故の状況	プレジャーボートの事故防止に向けて	九州西岸における漁船関連事故の状況

2. (2)①	基礎データの開示
<p>具体的な対応策</p> <p>1. 個人情報、企業機密に関するものを除き、原因を解明するための不可欠な計算の元データは、報告書へ掲載</p> <p>2. 報告書作成に使用した委託調査(成果品)で報告書に全て掲載していないものの検討 [平成24年4月まで]</p> <p>3. 原因を究明するために不可欠ではない基礎データは情報公開対応</p>	<p>○事故等の原因を解析するために不可欠な計算の元データは引き続き報告書へ掲載する。</p> <p>○委託調査資料(成果品)の報告書への掲載は、委員会(部会)の審議を経て決定することとしており、平成24年5月から新たに審議入りする案件については、基本的に委託調査資料の報告書への掲載を実施している。</p> <p>○これまで、気象データ、フライトレコーダ等の機器の諸元、DFDR等の各種記録装置のデータ等について情報公開請求に対応している。</p>

2. (2)②

委員会審議の更なる透明性の確保

具体的な対応策

(議事録の詳細化)

1. 審議における意思決定の過程及びその経緯等について議事録に記載することは、審議の透明性の確保又は事後に検証する上で必要となるものであることから、以下のように対応する。
2. 委員会(部会を含む。)審議のうち、重要、かつ本質的な部分について、委員ごとの発言部分を要領筆記した詳細な議事録を作成する方向で検討することとし、平成23年11月の各部会から詳細化した議事録作成の試行を開始した。
3. ワーキングチームにおいて、試行結果(平成23年11月～平成24年3月までの5ヶ月分)を検討(特に、議事録に盛り込む審議内容、様式など)
4. 議事録のまとめ方、体制の整備などを踏まえた第2次試行の実施、検証(平成24年5月～9月)
5. 詳細な議事録の運用開始

○平成23年11月から平成24年3月まで、第1次試行として一部の部会について試行版議事録を作成し、作業量、記録すべき内容等について検討。

○平成24年5月から第2次試行を実施し、議事録のまとめ方、体制の整備について検討。

○これらの試行結果に基づき、平成24年10月から、詳細な議事録の運用を開始予定。

3. (1)(2)

被害者等への情報提供、被害者等からのご意見への適切な対応

具体的な対応策

(情報提供)

- ・被害者等情報提供マニュアルの作成

(ご意見への適切な対応)

1. 被害者等の気づきなどについては、情報提供窓口が被害者等に寄り添い、話をお聞きし適切に部会に報告する。
2. コミュニケーション能力の向上等に資する研修等の受講。
3. 報告書公表後も、被害者等との連絡を密にし、情報提供等に努める。
4. 地方事務所も情報の窓口として、東京と一体的に対応する。

○情報連絡室において、進捗状況の照会対応、報告書の事前送付等を行うとともに、被害者等からうかがった貴重なご意見を事務局内で共有している。

[業務内容]

情報提供の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、旅客が死亡又は行方不明となった事故若しくは複数の旅客が重傷を負った事故における被害者等(そのご家族、ご遺族を含む)を対象とする。 ・但し、上記事故以外の被害者等から情報提供の要望があった場合は、上記に準じた情報提供を行う。
情報提供の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミへ公表する事実情報や調査の進捗状況 ・事故調査報告書(経過報告を含む) ・委員長記者会見の要旨
対応その他	<ul style="list-style-type: none"> ・被害者に対し、できる限り早期に、情報提供窓口設置の旨を伝える。 ・被害者等のご意見は、適宜取りまとめのうえ、関係部会へ報告する。 ・報告書公表後においても再発防止策のフォローアップなどの情報提供に努める。 ・地方事務所を含めて被害者等が気軽に立ち寄ることができる開かれた体制を目指す。 ・国土交通省「公共交通事故被害者支援室」と連携を図る。 (併任←「事故被害者情報連絡室」)

(被害者等情報提供マニュアル(平成24年5月作成)より)

○平成24年4月に各地方事務所も情報の窓口を開設し、東京と一体的に対応している。

4. (1)①

能力向上のための研修等の充実

具体的な対応策

研修協議会を設置して平成24年度研修計画を策定し、以下の研修を順次実施する。

- ・より徹底した原因調査のためのコミュニケーション、プレゼンテーション、コンプライアンス、ヒューマンファクター分析手法などの研修
- ・被害者等に対する情報提供のためのコミュニケーション能力向上の研修
- ・被害者等からの事故調査への気づきに関する講演の開催
- ・国外研修
- ・地方事務所職員に対する航空、鉄道事故の初動調査の概要、手法等の研修
- ・その他の専門研修

[平成24年4月上旬に研修協議会を開催]

運輸安全委員会事務局職員の研修に関する通達の見直し

- ・現在の航空事故調査官研修要領(H20.10.1運委参第14号)、鉄道事故調査官研修要領(H20.10.1運委参第15号)を廃止し、船舶事故調査官及び事務官を含めた全職員に関する研修要領を策定

[平成24年10月までに実施]

○平成24年4月に第1回研修協議会を開催し、「平成24年度研修計画」を策定するとともに、順次、研修を実施している。

基礎力向上 (モード共通)	ヒューマンファクター分析手法	実施予定
	コミュニケーション研修	実施予定
	航空及び鉄道事故調査の概要研修	5月実施済み
専門技術研修 (モード別)	機器取り扱い研修	随時実施
	シミュレータ訓練	随時実施
	火災調査に関する研修	6月実施済み

4. (2)①

運輸安全委員会のミッション・行動指針

具体的な対応策

運輸安全委員会のミッション・行動指針を策定し、委員・職員に通知するとともに、運輸安全委員会のウェブサイトで公表する。

[実施済み]

○職員一人一人が常にミッションを意識し、行動指針に則り業務を適確に遂行するよう、委員長室や各地方事務所の所長室等に掲示した。



東京 委員長室

運輸安全委員会のミッション

私たちは、適確な事故調査により事故及びその被害の原因究明を徹底して行い、勧告や意見の発出、事実情報の提供などの情報発信を通じて必要な施策又は措置の実施を求めることにより、運輸の安全に対する社会の認識を深めつつ事故の防止及び被害の軽減に寄与し、運輸の安全性を向上させ、人々の生命と暮らしを守ります。

運輸安全委員会の行動指針

- 適確な事故調査の実施
- 適時適切な情報発信
- 被害者への配慮
- 組織基盤の充実

名刺(裏面)

MISSION・行動指針

文字サイズの変更
・ 大きく
・ 小さく

事故情報
事故、重大インシデント類
※報告書、統計等が閲覧できます。
・ 情報発信の流れ
・ 航空事故インフォメーション
・ 鉄道事故インフォメーション
・ 船舶事故インフォメーション
・ 事故等調査の進捗状況
・ 運輸行政機関への情報提供
・ 勧告・意見・安全勧告

運輸安全委員会について
・ 委員会へようこそ
・ MISSION・行動指針
・ 委員会業務
・ 委員会の業務
・ 組織図
・ 関係法令
・ 所在(各地方事務所)
・ 関連リンク集
・ サイトマップ
・ アクセシビリティ

委員会の活動
・ 事故調査の流れ
・ 航空事故
・ 鉄道事故
・ 船舶事故
・ 航空事故調査
・ 国際協力
・ 事故等の分析・行動指針
・ 広報サービス

お知らせ
・ 委員長記者会見
・ 報道発表
・ 定期情報
・ 人具・契約情報
・ 採用情報

申請・手続き
・ 情報公開

1. 適確な事故調査の実施
組織図といった事故の背景にまで深く掘り下げつつ、責任追及から分離された科学的かつ客観的な事故調査を実施し、迅速に報告書を作成します。その際、分かりやすさに心がけ、理解を助ける情報の提供に努めます。

2. 適時適切な情報発信
事故の防止や被害の軽減に寄与するため、国内外に対し勧告や意見の発出、事実情報の提供などの情報発信をタイムリーかつ積極的に行うとともに、事故調査の進捗性確保の観点から関係者の関与に努めます。

3. 被害者への配慮
被害者やそのご家族、ご遺族の心情に十分配慮し、事故調査に関する情報を適時適切に提供するとともに、ご意見などに丁寧に対応します。

4. 組織基盤の充実
あらゆる機会をとらえて、職員手法に対する総合的な理解をはじめとした様々な能力の向上に努めるとともに、組織全体が活性化できるよう、自由に意見を交換し、問題を共有できる組織づくりに努めます。

トップページへ戻る

http://www.mlit.go.jp/jtsb/mission-shishin.html

運輸安全委員会ホームページ

4. (2)②

シンボルマーク等の設定

具体的な対応策

委員・職員(地方事務所を含む。)からの公募及び投票によりシンボルマークを設定する。

シンボルマークは、国内外の会議やイベント会場(ポスター等)、ウェブサイトや公表資料、封筒その他様々な場面で幅広く活用して運輸安全委員会をアピールしていく。

[実施済み]

○シンボルマークは平成24年3月に職員の提案により選定した。また、シンボルマークを内外に周知するため、シンボルマーク入りのクリアファイル、封筒、名刺のひな型やビブスを製作した。



クリアファイル、封筒



ビブス



名刺

<p>4. (2)④</p>	<p>地方事務所の強化</p>
<p>具体的な対応策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方事故調査官の調査対象である船舶事故等の処理に当たっては、審議の効率化の改善を図る。 [平成24年6月から実施] 2. 各地方事務所作成の地方版分析集について、内容の充実及びその周知啓発活動を積極的に行う。 [平成24年中の実績についてレビューを行う] 3. 地方事務所も情報の窓口として、東京と一体的に対応する。 [平成24年4月から実施] 4. より徹底した原因調査のためのコミュニケーション、プレゼンテーション、コンプライアンス、ヒューマンファクター分析手法などの研修 [順次実施] 5. 地方事務所職員に対する航空、鉄道事故の初動調査の概要、手法等の研修 [順次実施] 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京の船舶事故調査官が代理で説明していたものを、テレビ会議システムの活用により地方事故調査官が直接部会審議に参加し、説明することとした。 ○地方事務所が年に1回程度作成している地方版分析集についても、今後内容を充実するとともに、運輸局を通じて情報提供を行う。 ○地方事務所に情報提供担当者を指名し、地方運輸局等への情報提供を強化した。(例:神戸事務所から神戸海運監理部に対し、発生した水上オートバイリブ同乗者死亡事故について情報提供) ○被害者に寄りそうことを基本とし、東京と地方が一体となって対応するため、地方事務所の事故調査調整官を「事故被害者情報連絡室」に併任した。 ○平成24年4月に第1回研修協議会を開催し、「平成24年度研修計画」を策定するとともに、順次、研修を実施している。 ○航空・鉄道事故調査の支援のため、地方事務所職員に対し、航空・鉄道事故調査に関する研修を行った。